

しながわ防災区民憲章の制定について

1. 制定目的

東日本大震災から15年の節目である令和8年3月11日に「品川区災害対策基本条例」の理念に基づき、区民の防災意識のさらなる向上、次世代への継承を目指し「しながわ防災区民憲章」を制定する。

2. パブリックコメント実施報告

- (1) 実施期間 令和8年1月21日(水)～2月9日(月)
- (2) 実施結果 別紙1「パブリックコメントの結果について」のとおり
- (3) 主な意見
- ・乳幼児、女性、高齢者など配慮を要する層への言及を追加してほしい。
 - ・他自治体の先進事例を参考に、行動指針をより具体的にしてほしい。
 - ・「あいさつする」について、より幅広い価値観への配慮も必要だ。
 - ・前文で地理的特性を記載する必要はないと思う。
 - ・「私は～」を文頭にし、より主体性を強調すべき。

3. しながわ防災区民憲章(案)

別紙2「しながわ防災区民憲章(案)」のとおり

4. 制定記念式典

- (1) 日 時 令和8年3月11日(水)
午後2時30分～午後4時
- (2) 場 所 品川区立豊葉の杜学園 体育館
- (3) 実施内容
- ・制定式典
 - ・特別記念講演会
- (4) 講演会講師 跡見学園女子大学 観光コミュニティ学部 教授
(一社)福祉防災コミュニティ協会 代表理事
鍵屋一 氏

No.	ご意見（要約）
素案に対する感想について	
1	文言の内容や言い回しは良いと思います。
2	しながわ防災区民憲章（素案）について、趣旨に賛同します。
3	概ね、素晴らしい憲章だと思います。
4	品川区の防災リーダーに、車椅子、視覚障害、聴覚障害など、障がいのある方を選出して欲しいです。
素案全体に対する意見	
5	最後の「私」「私たち」が強調されるように、最初に「私」「私たち」を加えるとよいのではないかと思います。
6	他の自治体の模倣。フレーズが異なっても、構成が完全に酷似しているのはリスクあります。
7	各項目の小見出しはもう少し強調したほうが分かりやすいと思います。
8	憲章に使われています「私」はひらがなにしておき、読みは品川区民憲章と同じ「わたくし」はどうでしょうか。
9	各項目の最終文言は同じトーンにしてはどうでしょうか。
10	東日本大震災を経験したうえで記載された釜石市防災市民憲章は概念や標語レベルでも覚悟と教訓が伝わってくるが、問題意識が曖昧で切迫感に欠ける印象を受けるため、横浜市のように具体的な行動指針を併記するのが望ましいと考えます。
11	憲章であれば、一つひとつの文章が「私は（私たちは）」で始まる内容であるべきなのに対し、「災害はいつ起こるか分からない」などの説明文などが混ざっているため、インパクトに欠けている印象があります。
12	この限られた文字数に「守る」が3回も出てくるのが気になります。
13	本素案には「品川区」「品川」「しながわ」の三つの表記が混在しています。
14	「支えあい」と「助け合う」で、「あう・合う」の表記が混ざっているが統一しないのでしょうか。
15	「行動する」の中に「備える」「あいさつする」「伝える」が含まれているように思います。
前文について	
16	過去の災害や品川で特徴的に起こりうる災害に触れ、課題を明文化したほうがよいと思います。
17	前文に記載の品川区の地理的特性について、必要ないと思います。
本文の表現について	
18	防災のためにつながるわけではなく、よりよいまちにするためにつながるので、「いざという時は」でなく「いざという時にも」とするとよいのではないのでしょうか。
19	過去に地元で起こった災害を知らない区民が多いので、「過去の災害から多くを学んだ」ではなく、「過去の災害から多くを学ぶ」とすべきだと思います。
20	「訓練に参加して 地域とつながろう」とあるが、訓練だけだとあまり参加する気が起こらないと思うので、「訓練に参加し 楽しく地域とつながろう」としてはいかがでしょうか。
21	行の文末は「行動する」として他とそろえるべきではないのでしょうか。
22	「地域とつながる」「地域とつながろう」で内容が重複しています。
23	「備えることは特別なことじゃない」に違和感ありました。「特別なことじゃない」ではなく「備えることを日常の中に取り入れよう」に修正したらどうでしょうか。
「あいさつする」について	
24	挨拶を区民に求めるのは、価値観の強要ではないかと思います。
25	「あいさつ」を強いることについて、道徳観を押し付けることに強い違和感があります。
26	「あいさつする」の部分ですが、近年、「声掛け」が問題になるケースもあります。「声掛け」が発生したときに区の防犯メールが来たこともあるため、そういったことを含め、「あいさつ」の部分を再度検討してはいかがでしょうか。
27	「地域とつながるため 私はあいさつする」とあるが、つながることは手段なので、目的にした方がよいので、「支えあえるまちにするため 私はあいさつする」としてはいかがでしょうか。
28	「あいさつから始まる関係性を築く」との意味かと思うが、「あいさつする」だけでは弱いので、「つながる」のほうが良いと思います。
自助・共助に関する意見	
29	防災について自助、共助だけではうまくいかないため、行政を上手く活用するのも区民の務めであり、自助、共助、公助の連携が重要であると思います。前文の「自助および共助」を、「自助、共助および公助」としてはいかがでしょうか。
30	区民憲章の素案は自助・共助のみが大きく強調される内容で「公助」の言葉がありません。自助・共助を前面に押し出すあまり、予防対策で住民の生命と財産を守るという自治体の重要な役割が消えてなくなっていることは問題です。区民憲章に「被害を未然に防ぐ予防対策としての公助」、「自助・共助を後押しする公助」の役割も記載すべきです。
31	「私たちの品川は 私たちが守る」に違和感を覚えます。防災の区民憲章で、自助・共助の重要性を次の世代に引き継いでいくのは理解できるが、品川区として自助・共助で守るべきなのは何か分かりません。区民が自助・共助で守るべきなのは少なくとも「品川」ではないと思います。
32	「区のみ頼るのではなく、自助・共助で住民が各々備えて、住民同士助け合って頑張り」という内容なのに、最後に「私たちの品川は私たちが守る」とあえて言わされるというのは矛盾を感じます。
33	「私たちの品川は 私たちが守る」とあるが、大災害が起きた際、自助・共助は必ずしも区単位で行われるわけではないと思います。
要配慮者について	
34	備蓄で劣後されがちな乳幼児、女性、ご老人の記載を行ってほしいです。
35	独居のお年寄りが、災害発生時には最もケアが必要になります。平時は問題ないかと思いますが、平時から「備える」ことが必要であることは言うまでもありません。そこで、「備える」において、そのようなお年寄りや、障がい者の方の見守りも加えた方がよいのではないのでしょうか。
36	認知症、障がい、他配慮が必要な人を捨て置かないようにし、防災訓練に参加してもらうためにも、日頃の地域祭りやイベント時から当人と家族へ積極的に声かけするようにすべきだと思います。

2. 各意見に対する対応

- (1) 素案全体に対する意見
 - ・文末の統一や強調する部分を明確にしたほうが良い。
 - 各最終文言は倒置法により「私は～する ～するため」に統一し、「自分ごと」して捉えていただくよう表現を強調いたしました。
- (2) 前文について
 - ・地理的特性は必要ないと思う。
 - 前文を整理し、地理的特性は「行動指針」に記載するよう調整を行いました。
- (3) 自助・共助に関する意見
 - ・自助・共助で守るべきなのは少なくとも「品川」ではないと思う。
 - 「行動する」の最終文言を「私たちは行動する」とも乗り越えるために修正いたしました。
- (4) 要配慮者について
 - ・要配慮者についても記載したほうが良い。
 - 憲章本文での「あなた」とは家族やパートナー、ペットなど、一人ひとりが大切に思う対象を表しています。
- (5) その他
 - その他のご意見は、「行動指針」に記載するよう調整を行いました。

案

しながわ防災区民憲章

災害から私たちの命と暮らしを守るため、自助・共助の重要性を次の世代に引き継いでいくという決意の下、私たち品川区民は、ここに「しながわ防災区民憲章」を定めます。

備える

災害はいつ起こるか 分からない
備えることは 特別なことじゃない
私は備える 私やあなたを守るため

あいさつする

いざという時は 地域の人が頼りになる
小さなつながりが 大きな力になる
私はあいさつする 地域とつながるため

伝える

過去の災害から 多くを学んだ
どう備えるのか どう助け合うのか
私は伝える 次の世代に引き継ぐため

行動する

力を合わせて 防災力を高めよう
訓練に参加して 地域とつながろう
私たちは行動する とともに乗り越えるため

しながわ防災区民憲章（素案）

令和8年3月11日制定

東京湾に面した臨海部と、山の手につながる台地からなる品川区は、地域で力を合わせ支えあいながら、産業・交通の拠点として栄えてきました。

災害から私たちの命と暮らしを守るため、自助および共助の重要性を次の世代に引き継いでいくという決意の下、私たち品川区民は、ここに「しながわ防災区民憲章」を定めます。

備える

災害はいつ起こるか 分からない

備えることは 特別なことじゃない

私やあなたを守るため 私は備える

あいさつする

いざという時は 地域の人が頼りになる

小さなつながりが 大きな力になる

地域とつながるため 私はあいさつする

伝える

過去の災害から 多くを学んだ

どう備えるのか どう助け合うのか

子どもたちを守るため 私は伝える

行動する

力を合わせて 防災力を高めよう

訓練に参加して 地域とつながろう

私たちの品川は 私たちが守る